



体育館に子どもたちの声が響き渡りました。



校門には、中川地域の住民や卒業生の協力により記念碑が建てられました。

144年の歴史に幕

中川小学校閉校式

2月9日、中川小学校の閉校式が行われ、144年の歴史に幕を閉じました。中川小学校の高橋雅己校長は「地域に伝わる文化の継承、地域のよさの発見、学ぶこと、運動すること、地域の方の温かさを何度も実感することができた。中川小学校の長い歩みは地域の皆さんに愛され支えられてきた歴史である。子どもたちには古くから大切に伝えられてきた三省の教え（人の話

を真心を込めて聞く・友だちなどに嘘をつかない・わかったふりをしない）をしっかりと受け継いでほしい」とあいさつを述べました。
閉校式終了後はグラウンダーガーデンを会場に「中川小学校を語る会」が行われました。参加した方は、閉校記念映像を鑑賞し、当時の思い出話に花を咲かせていました。



協議会メンバーとゲストによる「ヘルスケア宣言」。

仙北市まるごと温泉・健康サミット



「間違いだらけの温泉入浴法」について講演する仙北市温泉療養研究会の市川晋一会長。



「入浴と健康維持」について講演する(株)バスクリン製品開発部の石澤太市氏。



パネルディスカッションの様子。

2月8日、西木温泉ふれあいプラザで、仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会による仙北市まるごと温泉・健康サミットが開催されました。「健康」をキーワードに、温泉に関する講演をはじめ、市内の温泉・森林浴・食の分野からゲストをお招きしたパネルディスカッションを行いました。
最後に、現代版の湯治文化の再創造を目指すとともに、市民の健康増進とヘルスケア産業の創出と振興を目指した「ヘルスケア宣言」が行われました。当日は約200人の方にお越しいただき、盛会裏に終了しました。

子どもたちのために役立てて JA秋田おばこが寄付金贈呈



門脇市長（左）に目録を手渡す小原圭介副組合長（右）。

2月6日、西明寺小学校の児童が農業体験学習の一環で育てたねぎの売上金6万8千円をJA秋田おばこ（秋田おばこ農業協同組合）を通じて仙北市へ寄付しました。
毎年、同組合の西木営農センターが食農教育事業の一環で、西木町の農家の佐藤一也さんからほ場をお借りし、同校の6年生がねぎの栽培から収穫、販売までに取り組んでいます。今年も6年生25人が佐藤さんの指導のもと丹精込めて作りました。
昨年開催された産業祭で販売し、児童が一生懸命作ったねぎを買い求めようと行列ができるほどの人気ぶり、1日で136袋を完売しています。
小原圭介副組合長は「この寄付金を子どもたちのためにぜひ役立ててほしい」と話しました。

除雪作業など冬の暮らしを体験 青山学院大学の学生が市内で交流



学生の中には初めて雪を見る人も。雪国ならではの暮らしを体験しました。



なれない雪に苦戦しながらも田沢湖高原雪まつりの会場づくりを体験！



百寿

おめでとう 100歳です

2月2日、浅利堅一さん（西木町松木内）が100歳の誕生日を迎えられ、特別養護老人ホーム清流苑でお祝いが行われました。
当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



中央が堅一さん。

各分野の発展に貢献

仙北市技能功労者表彰

1月28日、卓越した技能を有する技能者を表彰する仙北市技能功労者表彰が行われました。受賞者は、各業界団体などが個人を推薦し、大曲仙北職業訓練協会や仙北市商工会、秋田県仙北建設業協会などで構成する選考委員会を経て決定しました。受賞者は次のとおり。

分野：建築大工



藤田利孝さん (角館町西勝桑町)

中学卒業後、高校に通いながら父に師事し、在来工法の技術を習得。指矩(さしがね)と呼ばれる道具を使い、武家屋敷石黒家修理をはじめ数多くの家屋建築や修理に携わり、現在に至る。
60年以上の経験に培われた確かな技術は、業界内からも高く評価されている。昭和39年には二級建築士資格を取得。一人親方を貫き通し、同年輩の同僚と二人で昔からのお得意先や頼まれ仕事を地道にこなし、技術研鑽に積極的に取り組んでいる。
長年にわたって秋田建築労働組合角館支部長を務めるなど、業界団体の発展に大きく貢献している。

分野：調理



櫻田正さん (西木町西明寺)

昭和40年地元ホテルに入社後、東京都内で和食の高いレベルを学ぶ機会を得て、技術を習得。昭和63年花心亭しらはまに入社し、総料理長を務め現在に至る。
帰郷後より味・創作料理において独特の世界観を創り出し、旅行会社で行う料理お客さま満足度調査でも常に高い評価を得て、県内トップの成績を維持している。
地域の料理関係者に料理講習や指導を行い、地元特産品を使用した新メニュー作りに努めながら、後進の育成に積極的に関わっている。
長年にわたって田沢湖調理師会和会役員を務めるなど、業界団体の発展に大きく貢献している。

分野：菓子製造



佐々木正昭さん (角館町小勝田)

昭和42年高校卒業後、菓子店に入社し、製菓技術を習得。昭和54年に(有)フフレーズを開業し、現在に至る。
角館の桜並木をイメージするお菓子の創作や地元西明寺栗を使った新商品開発、地酒を使ったマロングラッセの商品化など、精神的な商品企画・開発化により、全国菓子博表彰をはじめ多くの賞を受けている。その確かな技術は業界内で高く評価されている。
後進指導では3人の菓子製造技術者を送り出し、菓子関係技術者の技術向上指導に取り組んできている。
長年にわたって角館町菓子工業組合会長や横町さくら通り会会長を務めるなど、業界団体発展に大きく貢献している。



第15回 仙北市民スキー大会



閉会式の様子。

2月8日、「第15回仙北市民スキー大会」が、たざわ湖スキー場で開催されました。大会成績は次のとおりです。

各種目1位選手(敬称略)

- ▼アルペン▼
- ▼小学1年男子大回転B 吉田結星
 - ▼同女子 櫻田心菜
 - ▼小学2年男子大回転B 門脇祥真
 - ▼同女子 島山芽依
 - ▼小学3年男子大回転B 田村将
 - ▼同女子 門脇恋珀
 - ▼小学4年男子大回転A 横山蓮
 - ▼同女子 伊藤愛莉
 - ▼小学5年男子大回転A 佐藤丈
 - ▼同女子 高橋りのあ
 - ▼小学6年男子大回転A 藤川桂太
 - ▼同女子 島山紗依
 - ▼中学男子大回転A 石塚康平
 - ▼同女子 門脇結那
 - ▼一般女子B 草薙梨恵
 - ▼一般男子B 高橋敦
 - ▼一般男子C 伊藤雅人

第33回全国小学校管楽器合奏フェスティバル東北大会
第23回マーチング&パトーンダンスフェスティバル東北大会
神代小学校器楽部が
東北大会で銀賞

1月25日に「第33回全国小学校管楽器合奏フェスティバル東北大会」、26日に「第23回マーチング&パトーンダンスフェスティバル東北大会」が仙台サンプラザホールで開催されました。出場した神代小学校器楽部が25日の大会では表彰状、26日の大会で銀賞を飾ることができました。

くれた方を含め、自分も楽しんで演奏をすることができたからよかった」、副部長の細川庵庵さんは「本番を意識した練習を心がけている。部員や聞いている方が楽しめる演奏ができた」と話しました。

神代小学校器楽部は全員で15人と参加校の中では少ない人数でしたが、一人ひとりの楽器演奏が確実に演奏に工夫がされているという講評がありました。仙北市では全国小学校管楽器合奏フェスティバル東北大会の出場は初めてということで、快挙を成し遂げました。



前列左から細川庵庵さん(6年)、金谷雅央さん(同)。後列左から照井政裕校長、大河悟先生、熊谷教育長。

第65回青少年読書感想文全国コンクール

佐藤鈴音さん(西明寺中3年)が
全国学校図書館協議会長賞を受賞

令和元年度読書感想文コンクール秋田県地方の課題読書の部で最優秀賞(秋田県教育長賞)に輝いた西明寺中学校の佐藤鈴音さん(3年)の作品が、第65回青少年読書感想文全国コンクールで全国学校図書館協議会長賞を受賞しました。また、同校の佐藤紋音さん(3年)が同コンクール秋田県地方の自由読書の部で優良賞を受賞しました。

2月13日、市役所角館庁舎に報告に訪れた鈴音さんは「小中学校合わせて9年間応募して、最後に素晴らしい賞をいただけ嬉しい」、紋音さんは「受賞できてよかった。高校でもコンクールに応募していきたい」と話しました。



見事全国学校図書館協議会長賞を受賞した佐藤鈴音さん(右)と県コンクールで優良賞を受賞した佐藤紋音さん(左)。

佐藤鈴音さんの作文を全文(原文のまま)をご紹介します。

「正しさをより優しさを」

佐藤鈴音

言葉を失うしかない。胸に重いものが積まれ、下に下に引きずり下ろされるような感覚。長崎の原発資料館に入ったときの私の心。十一時二分で止まった時計。中身が炭になってしまった弁当箱。そして数々の写真。一瞬にして奪われた日常がここにある。人間は同じ人間に対して、何故こんなにむごいことができるのだろうか。こんなことを許していいはずがない。原爆投下が正しいなんてあり得ない。私はずっとそう信じてきた。

この本は、原爆投下の是非についてアメリカ人の高校生八名が討論会を行うという内容である。この本を読むまで、私は原爆投下についてアメリカ人がどう思っているのかわからなかった。原爆投下は、戦争を終わらせるために必要だった。とアメリカの学校で教えているなんて、驚きだった。(次ページへ)

マイナンバーカード取得とID設定で
お得にお買い物♪マイナポイント制度9月スタート！

マイナポイント **25%** もらえる！



マイナちゃんとマイキーくん にご挨拶！
マイナポイントって、なに？

選択した決済サービス(〇〇ペイ)で
買い物に使える国からもらえるポイントだよ！



マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定の上、
〇〇ペイなどの民間キャッシュレス決済サービスを利用して、
一定額を前払い等した方に対して国が「マイナポイント」を付与します。

キャッシュレスで2万円のチャージまたは買い物をすると
1人あたり5,000円分のマイナポイントがもらえる



たとえば4人家族なら……

最大 **20,000円分**の
マイナポイントに！

利用までの流れ

<p>①マイナンバーカード【取得】</p> <p>お持ちでない方は、 今すぐ申請を！</p>	<p>②マイキーID【設定】</p> <p>「マイキーIDとパスワード」は、自動で生成 されます。</p> <p>ID:***** 1 2 3 4</p>	<p>③決済サービスの【選択】</p> <p>マイナポイントを使う 決済サービスとして、 QRコード決済やIC カード等のサービス の中から、 1つ選択</p>	<p>④マイナポイント【取得】</p> <p>選択した民間キャッ シュレス決済サービス (〇〇ペイなど)のポイント としてマイナポイント を取得</p>	<p>⑤マイナポイント【利用】</p> <p>取得したマイナポイント はいつものお買い物 で利用可能 (※1, ※2)</p>
---	--	---	---	--

(※1)お買い物時にはマイナンバーカードを使用しません。(※2)国が買い物履歴を把握することはできません

<<マイナポイント申込み開始については、7月頃を予定しているため、6月頃までに上記①・②をお済ませください。>>

「マイナポイント」を取得するためには

1 | マイナンバーカードの申請・取得



窓口のほかスマートフォンやパソコンなどで申請が可能です。
制度開始前は混雑が予想されます。お早めの申請をお願いいたします。

※マイナンバーカード取得に関するお問い合わせ：市民生活課（43-3307）

2 | マイキーIDの設定及び事業に関する説明

マイキーIDの設定については、ご自身で、または、下記の各設定支援会場で設定。
事業に関するお問い合わせも下記の会場でご説明します。



<p>田沢湖会場</p> <p>設定支援日 3月3日、10日、 17日、24日、31日 (3月毎週火曜日)</p> <p>会場：田沢湖庁舎一階図書資料室 時間：9時～17時</p>	<p>角館会場</p> <p>設定支援日 3月5日、11日、12日、 18日、19日、25日、26日 (3月毎週水・木曜日。3月4日を除く)</p> <p>会場：ワンダーモール特設会場 時間：9時～17時</p>	<p>西木会場</p> <p>設定支援日 3月6日、 13日、27日 (3月毎週金曜日。祝日を除く)</p> <p>会場：西木開発センター 娯楽談話室 時間：9時～17時</p>
---	---	--

※マイキーID設定支援窓口に関するお問い合わせ：企画政策課（43-1112）



マイナポイントの使い方や制度全般に関するお問い合わせ
マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178
平日：9時30分～20時00分
土日祝：9時30分～17時30分

(前ページから)
原爆投下を肯定するなんて、一体
どういうことなんだろうと疑問に
思いながら、私はほとんどメイ達
の討論会に引き込まれていった。
何故原爆が落とされたのか、当
時の日本がどういう立場だったの
か、原爆投下肯定派のメンバーの
主張は私の知らなかったことをた
くさん教えてくれた。本土決戦を
覚悟し死を恐れず最後まで戦おう
とする日本。もし戦争が続いたな
ら、さらに多くの命が失われただ
ろう。また、中国・朝鮮半島・東
南アジアで日本がしてきたことは
許されることではない。ドイツと
同盟国であった事実も知ってはい
たが、ナオミのように日本もナチ
スに加盟していたというとならえ
はしていなかった。日本を他の国
から見るとこんなにも見方が変わ
るとは、私にとって新たな発見だ
った。

しかし、だからといって原爆を
落としていいということにはなら
ない。原爆資料館で受けたあの衝
撃は、どんな理由があるうとも私
に原爆を許させはしない。私は否
定派の意見に賛成である。原爆投
下の真の目的が人体実験であり、
ソ連にアメリカの強さを見せつけ
るためだったということであれば、
なおさらである。「戦争に無理矢理
協力させられていた日本の国民は
国家の奴隷であった」というダリ
ウスの主張には、大きく納得させ
られた。

人間の歴史は争いの歴史だ。人
間は家族を守るため国を守るため
自分の利益のために、いつの時代
も争ってきた。争いが辛いことだ
と分かっている、生きるために
殺し合い奪い合う。そして、そこ
で苦しんできた人達は歴史に名を
残した人々ではなく、私達と同じ
ただ幸せを望んで生きてきた罪の
ない人々なのだ。今も争いはやむ
ことはない。自国の利益だけを考
え差別や偏見に満ちあふれている。
スノーマンは「平和を創造するた
めに原爆は存在する」と言ってい
る。確かに今の国際社会は核兵器
のバランスで平和を維持している。
それが本当の平和と言えるのだら
うか。

この本には平和を創造するため
のいろいろのヒントがちりばめら
れているように思う。
一つはこの討論会そのものだ。
原爆投下というテーマ一つをとっ
ても、人によって考え方は全く違
う。八人の高校生は様々な根拠を
挙げながら自分の考えを主張する。
私は討論に参加している気分にな
りながら、自分の考えの甘さを痛
感した。自分の受けた感覚や印象
だけで話をするのは偏った見方に
なりかねない。自分で調べ学習、
いろいろなる人の意見を聞き、多角
的に物事を見ることが大切だと気
付かされた。また討論は白熱して
いくが、実に爽やかである。「異な
る意見を持つ、ということ、友
情とは、はっきり分けて考えなく
てはならない」という言葉にはっ
とさせられる。私はここが苦手で
ある。違う意見を言うて気まずく
なるより人と合わせるこの方が
楽で生きやすいのだ。「人はまず個
人である。」というメイの主張を大
切に、一個人として自分の考えを
語れるようになりたいと思った。
一人一人が考えをもち、発信し、
みんなで考えることが平和への一
歩となるだろう。

◆読んだ本『ある晴れた夏の朝』
小手鞠るい

もう一つは、「あやまちはくりか
えしません」の英訳のところであ
る。主語の訳し方一つで大きな誤
解が生まれる。世界にはいろいろ
な考え方や宗教がある。その違い

「あやまちは一度とくりかえしま
せん。」
私もこの世界に生きる一人として
誓いたい。

「それでも、私は愛する。」パレ
スチナ医師の言葉が討論会の結
末をとて温かいものにした。暴
力では何も解決しない。平和の創
造のために必要なのは暴力の対極
にある対話である。意見の主張は
自分の正しさの証明であるが、正
しさと正しさはいつまでたっても
平行線で永遠に解決には至らない。
そこに相手を理解し思いやる優し
さがあるのであれば未来はきっと
変えられるのではないだろうか。